クリエイト進学ゼミ



本郷教室　教室長ブログ　11月14日(土)



こんばんは。教室長の大内です。

また、1か月ほど更新が空いてしまいました！
すみません！

その間に教室通信を2つ発行していますので
そちらのご案内をさせて下さい！

★2学期中間試験　成績上昇例
https://www.study-f.com/swp/wp-content/uploads/2017/07/c6103282876f9c48c590c9b8efa02685.pdf
今回は中2の伸びが素晴らしかったです！

今回の教室通信から
学習アドバイスも載せることになったため
成績上昇例のスペースが限られてしまい
中2が埋め尽くす形になりました。

本郷教室内には
中1と中3の上昇例も壁一面に掲示しています。
ご来塾の際は是非その「壁」をご覧ください！

★中3生　10月北辰テスト　成績上昇例
https://www.study-f.com/swp/wp-content/uploads/2017/04/aa70b04

b01e6aef56424dc474bb9730b.pdf
こちらも中3生の頑張りが
たくさん載っています！

今年の中3生は
定期試験と北辰テストの日程が
見事に被っており

10 月 11 日(日)に北辰テストがあり
10 月 13 日(火)に中間テストという
ハードなスケジュールでした。

試験範囲が重なっていればよいのですが
これが見事に重なっていないのです。

北辰テストは中1・中2内容と
中3の1学期内容が試験範囲で
中間テストは中3の2学期内容が範囲なのです。

そして何と泰平中3年生に関しては
11 月 4 日(水)にさいたま市学力テスト
11 月 8 日(日)に 11 月北辰テスト
11 月 12・13 日(木・金)に期末テスト
そして、どれも試験範囲が重なっていない。

私、このエリアで約 20 年勤務していますが
中間試験も期末試験も
これだけ出題範囲の異なる試験と
日程が重なったことは初めてです。

そして、公立高校入試制度も
今年度から大幅に変更。

今年の中3生、本当に大変です(涙)

そんな3年生も
気が付けば私立入試まで残りおよそ2か月
公立入試まで残りおよそ3か月です。

本当に月日が経つのは早いものです。

ついこの間、今の高校1年生が
塾を卒業していった印象なのですが・・・。

こうやって、お互い必死になって
志望校合格に向かって走り続け
気が付けば別れの時が目の前に。

まさに「会者定離（えしゃじょうり）」ですね。

※出会った者は必ず別れる運命にある

高校入試まで辛いことがあっても

「堅忍不抜（けんにんふばつ）」の精神で

※我慢強く何事にも動じないこと

「和衷協同（わちゅうきょうどう）」していきたいと思います！

※心を同じくして物事にあたること

おや？

なぜ四字熟語？笑

実は私、10 月末に色々あって

漢検2級を受けました。

中学修了レベルが3級のため
塾内でも準2級を受ける生徒さんが
たま～に出ますので

「2級を受けよう。
四字熟語が大変なのは聞いているから
そこを頑張れば何とかなるかな？
漢字はあまり得意ではないけれど
試験に追われて勉強をするのも
生徒達の心境を久々に体感出来て
良い経験になる！」

と考えて申込し、問題集を買いました。
ところが･･･
パソコンとスマホの弊害か
普段漢字を書く機会が減っているため

読めるけど書けない

そんな漢字がたくさんありました。

例えば･･･

わいろ　　うらやましい

ごいりょく　ほんろう

思いついたものを羅列したら
何だかそれっぽい文のようになっていて
今すこし笑っています(笑)

問題集を取り組んでいて
「読み」なら絶対できるのに！
という気持ちに何度もなりました。

そして、何より四字熟語
先ほど使用したものは、まだ漢字を見れば
意味も何となく推測できると思いますが
それが困難なものもいくつかあって
かなり大変でした。

例えば・・・

汗牛充棟（かんぎゅうじゅうとう）

これは簡単に言うと・・・

本をいっぱい持っている

という意味です。

ちいかわのお友達である「うさぎ」が

ハァ〜！？

と言う声が聞こえてきそうですね笑。

他にも･･･

盲亀浮木（もうきふぼく）

これは簡単に言うと･･･

非常に珍しいこと

という意味です。

なぜ、そんな意味になるのか
それを調べながら勉強するのは大変でしたが
納得できたときには

「なるほど～！」となり

覚えることにつながりました。
お恥ずかしい話ですが
過去問をはじめてやったときは
130 点くらいしか取ることができず

（漢検準2級までは 140 点が合格ラインですが
2級からは 160 点が合格ラインになります）

「いくら理系の先生とは言え
落ちるのはカッコ悪い！」
という思いになり、
仕事が終わって帰宅したあとに
漢検の勉強をする日々が1か月ほど続きました。

最初は正直なところ
書けない漢字や知らない四字熟語
たまに読めない漢字や

首肯（しゅこう）　拘泥（こうでい）　蓋然（がいぜん）　筆禍（ひっか）　など

初めて見る熟語もあり
自分の未熟さを痛感する毎日でしたが
間違えたものを1冊のノートにまとめ
毎晩それを見返すことを続けていくうちに
過去問の点数が少しずつ上がり
漢検の勉強がだんだん面白くなってきました。

最終的に過去問をやって
180 点を割ることはなくなり
190 点台も取れるようになり
「どうせなら！」と
満点合格が目標になりました。

迎えた試験当日。

自己採点の結果は・・・

198 点でした！

これまでの習慣で書いていた漢字が
実は間違っていた！
　・・・という漢字が、漢検の勉強で
いくつか見つかったため
もしかすると失点になる回答を
してしまった可能性もありますが
さすがに 160 点は超えたと思います。
これで不合格だった場合はおそらく
今回が最後の教室長ブログになるでしょう（笑）

間違いばかりで勉強が嫌になる・・・

そんな気持ちを久しぶりに体験できました。

同時に

やる気というものは

勉強して解ける問題が

増えていくにつれて

出てくるものなのだということを

あらためて確認できました。

結果は今月末に出ると思いますが
何点だったのか楽しみです。

ちなみに・・・

汗牛充棟（かんぎゅうじゅうとう）は

本を荷車に載せて牛に引かせると
牛が汗をかくくらいの量で
地面から1冊ずつ本を積み上げていくと
家の屋根の棟に達する
　・・・くらい、本をいっぱい持っていること

盲亀浮木（もうきふぼく）は

広い海に盲目の珍しい亀がいて
広い海に丸い穴のあいた木の板があって

その亀が海中から海面へ
たまたま浮かび上がってきたときに
たまたまその木の板が頭上にあって
たまたまその穴に頭がハマる
　・・・くらい、非常に珍しいこと

というのが由来です。

特に盲亀浮木（もうきふぼく）は

人間に生まれる確率を表しているそうです。

小中学生のみなさんにとって
勉強は「できればやりたくないこと」でしょう。

しかし、それは
人間以外の動物に生まれていたら
経験できないことです。

人間に生まれたことが
いかにラッキーなことか。

そして、それが平和な環境で
義務教育として誰でも教育を受けられる
日本に生まれたことが
どれほどラッキーなことか。

苦手なものや嫌なものも努力をすれば
好きなことや興味のあるものに変わる。

そうやって好きなことや興味のあることを
増やしていくこと・・・

それが

人間に生まれたことを

謳歌（おうか）することになるのではないでしょうか。

それでは、今日はこの辺で！

大内